



# 県評しずおか

## 静岡県労働組合評議会

〒420-0851  
静岡市葵区黒金町55番地  
交通ビル3階  
TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973  
Eメール kenpyo@cy.tnc.ne.jp

### 強い交渉力で さらなる賃上げを

#### 第3回幹事会開催

静岡県評は6月15日に第3回幹事会を開催し、2024年春闘中間総括及び春の組織拡大の中間総括を行いました。

菊池議長は「24国民春闘では、大手企業で満額回答が続きましたが、円安による物価高騰が賃上げを促すか上回っている状況で、大手企業に続く中小企業や非正規の賃金は相変わらず押さえつけられている。円安によるインバウンド需要が言われるが、私たちに賃金が上がってこそ生活が向上したとの実感が得られないのではないかと。23春闘に続いて24春闘でもストライキを構えたたたかいが展開され、ストライキに対する国民の理解も広がってきています。ストライキなどの強い交渉力で労使対等の交渉を行うことで賃上げを実現させ、『賃金の実現できない国から賃上げの実現できる国』を実現させましょ

#### 発言する自交総連松下幹事



う」と挨拶。続いて県知事選の結果について「鈴木康友氏が当選をしましたが、鈴木氏は浜松市長の時代に水道の民営化や行政区の再編そしてゴミの有料化などの悪政を進めてきた人であり、本当に県民のための仕事をしてもらえるのか、そういったところを私たちはしっかりと見極めていかなければいけない。また、衆議院の3つの補欠選挙と

静岡県知事選挙で自民党が全敗した。今こそ国民の手に政治を取り戻すチャンスだ。総選挙はいつなのか予断を許さないが総選挙では静岡から市民と野党の共闘を進展させて政治の転換を目指そう」と訴えました。続いて上野事務局長から①春闘中間総括②春の組織拡大の中間総括が提案されました。

討論では▼高教組塚本さんから給特法改善に反対するたたかい▼自治労連小泉書記長から24年公務労働者の賃上げのたたかい▼西部地区労連藤田さんから労働相談から外国人労働者の組織化▼自交総連松下委員からライドシェア解禁を阻止するたたかい▼ローカルユニオン静岡河合委員長からは日本マイクロフィーター工業分会のハラスメントのたたかい▼全教静岡松下さんからは非常勤講師の実態など全体で9名から発言がありました。上野事務局長のまとめの後最後に、菊池議長の団結がんばろうで幹事会は終了しました。

### 最賃の大幅引上げただちに 最低賃金審議会始まる

最賃は、労働者に支払われる賃金の下限を定めたいものです。日本の最賃は、労働者が自立して生活するにはあまりにも低すぎ、都道府県で大きな地域間格差があります。中小企業支援を拡充し、全国一律制の確立を私達は求めています。

## 今すぐ最賃1500円 全国一律制の早期実現を

静岡県評は、静岡地方最低賃金審議会開催に先立ち、6月26日に静岡労働局と静岡地方最低賃金審議会に申し入れ、静岡県最低賃金を引き上げと最低賃金審議会の公正な運営を求める要請書」と「静岡県の最低賃金を時間額1500円以上にすることを求める署名」2176筆分を提出しました（6月4日の

提出分とあわせて合計で4857筆を提出）。6月28日には静岡地方最低賃金審議会が開催され、静岡県の最低賃金の改定に向けた議論が始まりました。今年の春闘で、県内企業の賃上げの妥結額が過去最高となっていて、最低賃金も昨年以上の大幅な引き上げが必要な状況です。静岡労働局の笹正光局長から諮問され、審議会がスタートしました。静岡県評からは榊原事務局長をはじめ3人が審議会を傍聴しました。審議会は公益委員4名・労働者委員3名・使用者委員4名の参加で欠席者が4名でした。最初に賃金が配布した資料の説明がありその後、審議会日程と審議会の公開・非公開が諮

### 子どもたちに もう一人保育士を！

6月15日 スタンディングアピール



駅地下道での訴え

6月15日に「子ども一人一人保育士を」全国実行委員会の取り組みを静岡県実行委員会として静岡県内で行いました。この日は県評第3回幹事会のため幹事会に参加する幹事も含め約40名が行動に参加しました。この実行委員会は、長年変わらない日本の保育士配置基準の改善を求めて活動をしてきた「子どもたちにも

一人一人保育士を」全国実行委員会の取り組みを静岡県内でも立ち上げたものです。保育士の配置基準は、全国実行委員会の取り組みや世論に後押しされて制度発足以来75年間一度も改善されてこなかった4・5歳児について、30対1から25対1への改善が図られ、それに対応する加算措置も設けられました。しかし、人材確保

に困難を抱える保育の現場で混乱が生じないようにと「経過措置として当分の間は従前の基準により運営することも妨げない」との但し書きが付け加えられています。実行委員会は一日も早く、改正された配置基準の実現とそれ以上に今の配置基準全体を変えていきたいとアピールしました。

### 教育署名スタート！



一コマ漫画

### 静岡県評の取り組み

#### 静岡県評第77回定期大会

日時：9月14日（土）10：00～  
会場：静岡市ロッキーセンター会議室

#### 東海北陸ブロック青年交流集会

日時：9月21日（土）～23日（月）（ササ）  
会場：三重県四日市市

#### 静岡県評女性部第35回定期大会

日時：9月21日（土）13：30～  
会場：静岡市あざれあ 5階会議室

### せんせいふやそうキャンペーン



駅地下での宣伝行動

静岡市教職員組合（静岡市教組）は、6月22日に、静岡駅前地下広場で「このままでは学校がもたない」「せんせいふやして」の宣伝行動と街頭署名に取り組みました。この取り組みが決まったのが6月17日の三役会議。「何かしなくちゃね」と話し合い「何もやらないよりはまし。短期間で呼びかけて、何人集められるかわからないけど、とにかくやってみよう」と決まりました。

組合員はもちろん、組合OB、県評、地区労連、新婦人など手当たり次第に参加のお願いをしました。それでも前日までに参加を申し出てくれた人は4～5人ほど。「しかたないかあ」と思っていたのですが、当日は開けてビックリです。いろいろな人が駆けつけてくれて、結局17人も集まってくれました。宣伝では、給特法を抜本改正し、長時間労働の抑制につながる教員に残業代を支給するしくみをつくること、そして教員の授業の持ちコマ数の上限を定めるための義務標準法の改正の必要性を訴えました。用意したチラシは全部なくなり、「えがお署名」66筆を集めることができました。

られました。3月に行われた昨年度の最後の審議会では静岡県は他県に比べて公開が進んでいないことが確認されました。今年も昨年同様審議会の審議内容は非公開となりました。

# 全国から400人参加で大盛況

## 第32回非正規で働く仲間の

### 全国交流集会in佐賀

全労連非正規センターと佐賀現地実行員会は6月1日、2日に佐賀市のアバンセ、メートプラザにおいて「非正規で働くなかまの全国交流集会in佐賀」を開催しました。静岡からは5人が参加しました。

今回の集会のテーマは「貧困と格差の解消！労働組合に結集し非正規で働く仲間の力で人権が守られる社会をつくらう！」です。集会のオープニング企画はゴスペルチームで、黒の衣装でそろえ、ホール全体を包み込む熱唱によって、会場全体が拍手子で一体となり大盛況の中、集会が開催されました。



佐賀の有志によるゴスペル隊

続いて佐賀県が集約した非正規労働者実態アンケートの結果を発表。不安定雇用や低賃金など改めて問題が浮き彫りになるとともに、その改善にむけ労働組合が必要であること、また、この活動を通じて1名が組合に加入したことも報告されました。その他、柳恵美子非正規センター代表の挨拶、仲野事務局長の基調報告、古今亭菊千代さんの落語などがあり最後に、社会保障をテーマにしたトークセッション

## 下からの自治的な取り組みが課題

6月19日、定例研究会が開催されました「奪われてきた声を取り戻す―主権者教育の動



報告する荒井氏

向と自治の担い手について」と題して、荒井文昭氏（東京都立大学教授）が報告しました。2005年に石原都政によって強引につくられた首都大学東京は、教員には任期制が導入され、事務職にも大量の有期雇用職員が導入された。あれから15年かかって労働組合による粘り強い当局との交渉もあり、教員に導入されてきた任期制が撤廃された。また非正規職員の専任化も実現した。2020年度から東京都

シオンでの交流もおこなわれました。集会後の約300名によるデモ行進には、通行中の市民も飛び入り参加するなど市民に非正規集を大きくアピール

## 南アルプスの環境保全はとて重要

### リニア差し止め訴訟第12回口頭弁論

6月21日に静岡地裁にてリニア裁判の第12回口頭弁論が実施されました。

今回は、芳山の自然保護部長や静岡県高山植物保護指導員などの委嘱を受け長年南アルプスの自然保護活動をしている村山俊一さんが意見陳述しました「南アルプスの自然はとも貴重でそれを守るために高山植物の保護や防鹿柵の設置など努力をしてきたが、リニアによってそれ自体が壊されてしまう」との危機感を現

立大学になった。日本における自治的活動は現在、1960年代と比べれば後退していると言わざるを得ない。労働組合の推定組織率をみても、現在は16.3%にまで低下している。

文部省の1969年の高校生の政治活動禁止通達は、高校生たちからこ

とばを奪い、自治的活動の場を奪ったことが、現在の自治的活動の停滞につながっていると、私はとらえている。労働組合の組織率が減少し続けている中で、多

二日目は8つの分科会に加え、権利学習講座と動く分会（佐賀駐屯地視察）がおこなわれました。どの分科会も全国の仲間との交流を通じて様々な意見交換ができ充実した内容でした。

南アルプスは水が豊富で緑の山脈と言われています。一度壊れたら取り返しの付かない自然、南アルプスの断層に貯まる水が抜かれれば乾燥化が進むと指摘する専門家は多いです。かけがえのない財産を後世に残す事は私たちの使命です。集会では林克さんから、

「最初は川勝さん去任だった鈴木新知事、選挙中に方針転換してこれまで県が深めてきた論点については尊重し、議論を継続していく

くの職場には多忙と多忙感が蔓延している。職場に無力感がひろがり、自治的活動が後退しているのだとしたら、それは民主主義にとって深刻な事態と言わなければならぬ。職場でのつづやき、住民の暮らしから生まれてくる切実な声を集めて共有していくことのできるの、下からの自治的な取り組みにかかっていると考える。こどもが校則のあり方を含めて、その運営に参画していくことは重要な課題となっている。



講師の村松弁護士

## 労働相談員募集します

### 労働相談員学習交流会

県評労働相談員学習交流会が6月22日に静岡市の交通ビルで開催されました。参加者は地域の労働相談員や相談者など15名でした。学習会の講師はサカイ引越センター残業代請求裁判で原告側弁護士の村松氏でした。県評では地域の労働相談員会議を毎月オンライン開催しています。今回はリアル開催の要望に応じて労働問題の学習会を兼ねて実現する形となりました。サカイ引越センター裁判

学習会後の交流会は飲食を伴う場でした。静岡と浜松の労働相談員が現状報告して村松弁護士から助言などいただきました。浜松では牧之原市にある自動車部品会社の外国人から労働条

**貸会議室**

のご予約・お問い合わせは  
一財) 国鉄労働会館静岡地方部へ  
TEL 054 (285) 4426 FAX 054 (283) 6835

★ 静岡駅南口から徒歩1分  
定員14名・30名(各1室)  
少人数の打合わせ・会議・講習会におすすめて

**生活・法律相談**

■ 労使トラブル・解雇・賃金不払い・セクハラ  
パワハラ・借金問題・教育問題など、受け付けます。  
■ 労働弁護士の紹介もいたします。

○ 受付 国鉄労働会館静岡地方部  
054 (285) 4426  
○ 相談場所 静岡合同法律事務所



裁判前青葉公園での街頭宣伝の様子

## 職場の安全衛生を実現するために

静岡県安全健康センター No. 103

### 古い機械が起因の

古い機械が起因の。普通は更新対象だ。ある日製造された部品に不良品が生じた。会社幹部は「こんなことでもできないのか」「何年やってるんだ」などと馬鹿にして言い、原因を報告書にかけ、再検品しろと命令した。長い間生産を続けてきたのに「何年もやって、こんなこともできないのか」と言われたのは、いくら何でも悔しすぎた。ベテラン労働者は精神疾患を起した。労災にあたるパワハラだと、その証拠はこの機械という客観的なものだった。

最近中部地方の製造会社のパワハラ事案の調査に同行した。会社幹部が傍若無尽なふるまいで労働者を悩ませている状況があった。「パワハラによる労災」は証拠がなかなか得られず、労災認定に苦労する。今回、特徴的なケースがあった。大変古い機械があり、この道数十年のベテラン技術者が操っていた。細かい調整は経験と勘で行われていた。マニユアルも仕様書も既にならぬ中、万の数の部品を現場労働者が追加で再検品作業。もともとどんな機械でも一定の不良品が出るのが通常だが、この機械を使えば出ない方がおかしい。経験と勘で調整していただきましたし、ようやく長い間生産を続けてきたのに「何年もやって、こんなこともできないのか」と言われたのは、いくら何でも悔しすぎた。ベテラン労働者は精神疾患を起した。労災にあたるパワハラだと、その証拠はこの機械という客観的なものだった。

件改善の相談がありました。相談を受けて外国人労働者18名が組合加入しました。ローカルユニオン静岡から「一昨年に組合加入した日本マイクロフィルム工業分会は御前崎市にあり浜松の組合加入した牧之原市の会社と近い。双方の組合員が連携して活動していたら組織拡大に繋がる」と連帯を呼びかけました。当日、塩川新聞舗（焼津市）の組合員5名が参加しました。会社と未払賃金の交渉を1年越しで行っています。村松弁護士の講演を聞いて、全員が訴訟を行う意を強くしました。県評の労働相談員は高齢で世代交代が1番の課題です。県評は労働相談員を募集しています。皆様の連絡をお待ちしています。